



エコ・あがさき



～深い絆と地域の輪～ 鶴嶺東コミュニティセンター

コミュニティバスの鶴嶺北コースに乗り「浜之郷小学校 コミュニティセンター前」で降りると目の前です。

正面玄関を入ると明るく居心地の良い空間が広がります。出迎えてくれるのは大きなデジタル掲示板、部屋の使用状況がわかるので便利です。年間利用者数5万人の利用を目標としています。

「鶴嶺東コミセンだより」を3月、6月、8月（15年記念特別号）、9月、12月に発行しています。



平成30年の行事

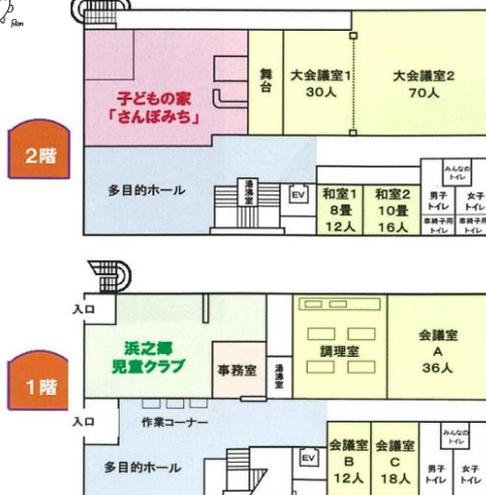
来場者数も多く、毎回賑わっています。
七夕飾りやお月見のお供えなど
日本伝統の風物詩を大切にしています。



- 1月 賀詞交換会、新年囲碁大会
- 2月 健康講座（認知障害予防コグニサイズ）
- 3月 いけ花教室
- 7月 みんなで遊ぼう Happy Day
- 9月 和菓子教室（練り切りとおまんじゅう）
- 10月13日 開館15周年記念講演「ふるさと鶴嶺のむかし」
県立鶴嶺高等学校吹奏楽部コンサート
- 11月10日 コミセン祭り（演芸、多数の模擬店、茶室など）
近隣の小中学校の協力で駐車場も確保。
- コミセン名画座 年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）
- 「海街ダイアリー」「きな子～見習い警察犬の物語」「解夏」、
7月中止、「スウィングガールズ」、11月「機関車先生」



館内図



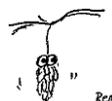
施設は・・・

多目的ホール（1階・2階）予約なしで使えます。

2階にはピクチャーレールがあり展示会もできます。自習の効率が良いと評判ですが、中学生には6時帰宅を促しています。

調理室（定員24人）

ガスコンロとガスオーブンを設置。
車椅子で使える調理台があります。
隣の会議室 A も借りると試食するのに便利。



会議室 ABC

定員がそれぞれ36人、12人、18人と使いやすい広さです

和室1（定員12人）と

和室2（定員18人）

茶道具完備。
少し高さがあるので立ったり座ったりしやすい座椅子があります。
コミセン祭りの時には鶴嶺中学校茶道部の協力を得てお茶会を開催します。

大会議室1（定員30人）大会議室2（定員70人）

間仕切りを外すと発表会などにも使えます。
舞台、音響設備、通信カラオケ設備（最新曲 OK）があります。
畳やジョイントマットを敷くことも可能。座布団も完備されています。

トイレ

1階と2階にベビーシートを設置しています。
1階はオストメイト対応です。



館内掃除や簡単なメンテナンス、植栽の手入れは事務員役員全員で行っています。



まなびの市民講師紹介

P2. KEEP LEFT プロジェクト 南八重 智子さん P3. ドッグライフ・コーディネーター 安田 勝さん



Rem



あなたの学びのお手伝い



“KEEP LEFTで自転車の左側通行を推進！”

KEEP LEFT PROJECT 代表 南八重 智子さん

KEEP LEFT PROJECT とは？

自転車に、“KEEP LEFT”のプレートをつけることで自転車の左側通行を推進する事業です。

自転車事故の約7割を占める交差点での事故の最大原因は、ルール違反の右側通行の自転車との「出会い頭」のものです。

みんなが「自転車は左側を通行する」という「気づき」と「意識」を持ち『お互いの思いやり』につながればとの思いで進めています。



プロジェクトを始めたきっかけと現在まで・・・



Rem

自転車で通行中にルールを無視して逆走して来た自転車に接触し、怖い思いをした経験から、ルールの大切さに気付きました。市民の皆さんにこの大切さを知っていただくためにルール等を調べ、自分の仕事だったイラストやデザインの経験と大好きなアロハスピリットで自転車に付けるプレートをデザインしました。まずは自分の自転車に取り付けてアピールする事から始めました。

5年程前からは、市民活動としてワークショップを開始。現在、公民館事業、まなびフェスタや小学校での授業内等で、これまで約7千枚もの“KEEP LEFTプレート”がワークショップとオリジナルプレートが製作され、子どもが作ることで保護者の方にも認識向上が図れました。

最近では、逗子市を始め色々な地域にもこの輪が広がり、10月に大阪府堺市で開催された『自転車利用環境向上会議』で、パネルセッションを行いました。



Rem



ワークショップをお願いするには？

講習会は2時間程度。参加者40名以下でサポートスタッフが3～5名程度必要です。

参加費は200円。開催要領は、応相談。自転車で来場され、帰りにはプレートを付けて帰りましょう。

これからの展望と抱負

東京オリンピック・パラリンピックのシェアサイクル等の機会を通じて、『茅ヶ崎発』の“KEEP LEFT”を広めていきたいと、現在ガイドラインを作成中のことで、極めて前向きで期待が持てる楽しいお話を伺いました。



Rem

南八重 智子さんの連絡先 ☎ : 090-9366-2560 メール : plate@aloha-chigasaki.jp

「まなびの市民講師」の横顔

「ペットトラブルから愛犬のための
相続問題までトータルに支援」



ドッグライフ・コーディネーター 行政書士

やすだ まさる
安田 勝さん



安田 勝さんのバックグラウンド

文学部出身。長らく大手広告会社で広告営業に従事され、IT、流通、住宅・不動産、官公庁など様々な業界のコミュニケーション活動を支援され、平成9年に行政書士の資格を取得されました。

元来、犬好きであることから、ペットに関するトラブル全般の相談に対応されています。

飼主が万が一の場合に愛犬をどうするか？

近頃、シニアライフの楽しみのひとつとして、犬を飼われる方が増えています。けれど飼主さんに万一の事情が生じた際には、残された愛犬の今後をどうするかという問題があります。面倒を見てくれる親族や知人がいる場合は別として、飼主さんが長期入院(入所)などで泣く泣く愛するペットを手放さざるを得ないケースが後を絶ちません。

また、飼い主さんが亡くなって遺産相続で揉めた場合、その間の愛犬の世話は誰がしてくれるのでしょうか?多くの悲しい場面を見てきました。そこで、現在、注目されているのが「ペット信託[®]」という制度です。「ペット信託[®]」は、飼主さんが万が一の場合、予め用意しておいたペットのためのお金を新しい飼主さんに定期的にお渡しし、ペットの世話をしてもらおうというもの。最近はこの制度を利用することで、安心してペットライフを楽しんでいらっしゃる飼主さんが増えています。

今後の展開

今は介護施設と組んで、愛犬とともに入所して、終生一緒に暮らせるプロジェクトを推進しています。この活動を全国的な展開とし、一つでも多くの愛犬の「いのち」を救うことができればと思っています。



講師をお願いするには？

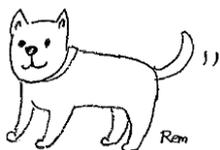
人数は5人前後からで、いつでもどこでも出前講座を実施いたします。

取材を終えて

多様な資格と趣味の安田さん

申請行政書士、動物法務士、ファイナンシャルプランナー、宅地建物取引士、愛犬家住宅コーディネーター、ペット災害危機管理士4級、湘南ネコ33(ミミ)メンバーのほか、趣味のカラオケでは関東ベストヴォーカリスト100に選ばれているとのこと。

話題が豊富で率直な方とお見受けいたしました。



安田 勝さんの連絡先: 行政書士やすだ法務事務所

〒253-0004 神奈川県茅ヶ崎市甘沼 120

電話/Fax:0467-98-1194 携帯電話:090-8107-3733

メールアドレス:m.yasauda@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ <http://doglife-yasuda-office.com/>



私の第一歩



『救われる歌の力』 コール・シュテルネ（女声コーラス） 中島 圭子さん

いつも背筋をピンと伸ばしにこやかに話しかけてくださる方に、あるとき「コーラス」へのお誘いを受けました。ちょうど定年を迎えて、今までやりたいと思っていてもできなかったことをして、これからの人生を豊かにしたいと思っていた矢先でした。時を経ずに見学に行きました。指導して下さる先生やピアノの伴奏、そして美しいハーモニーに感激して、即決で入会したのが私の第一歩でした。

しかし、腹式呼吸や発声練習などなかなか思うようにできませんでした。「がんばってね」と温かいメンバーの声に支えられて、今では生活の大切な一部となりました。体調が優れないときや疲れた時など、お腹から思い切り声を出して歌うことで元気にもなれました。

メンバーの中には、大病を患い復帰して1回1回のレッスンで元気になったり、家族の介護を続けながら歌うことで頑張れるという人もいます。「歌の力」ってすごいなあと思います。歌はもちろん、リズム感がまるっきりの主人も「家で歌声が聞こえることは明るくていいことだね」と言ってくれています。

レッスンの日は、喉の調子を気にかけながら自転車のペダルを漕いでいます。

場 所：勤労市民会館 ほか
練習日：火曜日（月3回）9:30～11:30
連絡先：0467-88-1014（代表 中島 圭子さん）

歌ってみたい
と思われる方のご連絡を
お待ちしております。

街角

「ふるさとの唄」

ふるさと

「兎追いし、かの山…」に始まる唱歌「故郷」が多くのの人々に愛唱されるのは、歌詞の情景が日本人が共有する心象風景なのだろうか？しかし人それぞれの生まれ育った土地には、時間を越えた空気感を持った「ふるさとの唄」があると思う。小学生の私が大空や海軍に憧れて歌ったのは「燃ゆる大空」や「海の進軍」であり、ラジオからは「すみれの花咲く頃」「マロニエの木陰」などが聞こえ、また家の中では大人達が三味線抱えて江戸小唄を楽しんでいた。日中戦争も3年目の昭和15年。だが街はまだ陽だまりの温もりの中にいた。やがて戦況悪化で本土空襲の危険が迫り、志賀高原の麓へ学童集団疎開をした。戦争の匂いから遠い平和な自然に囲まれて「菜の花畑に入日薄れ…」と歌った時、ようやく唱歌の美しさに目が開けた。1年後の終戦で帰京となり、昭和20年秋のある晩、長野発の帰京学童専用列車に接続する電車は、「さらば湯田中よ」の斉唱でホームを離れた。

この「ラバウル小唄」の替え歌は、近くの海軍病院の軍人さんが教えてくれた歌であった。帰った東京では「リンゴの唄（並木路子）」が放送されていた。間もなく空襲の爪痕を残しながらも、落ち着き始めた街に流れる「柳、芽いづる日、燕が銀座に飛び日…（「夢淡き東京」藤山一郎、昭和22年）」の歌声が、幼時に銀座のデパートで食べた「お子様ランチ」の匂いを思い出させた。まだ食料難でレストランなどあまり開かれていない頃だったと思うけれど、

(S/W)



編集後記

人は右側、自転車は左側。これが守られなかったためにぶつかった場面に遭遇しました。何故か右側を走っていた自転車の人は謝らず、正しく走行していた人が何度も謝っていました。

右じゃない！Keep Left！

(も)



ひととき

短歌（白石悦子選）

わが庭に真赤に実る桃太郎井戸端
会議の主役となりて

竹内 敏美

バラ園に連れてこられた犬二匹ポ
ズを取ってしばし動かさず

白石 悦子

俳句（清水呑舟選）

渡されて火照りの残る夏帽子

石田 カツ子

残されし絵手紙飾る盆用意

伊藤 徳治

ゆるやかな祖母の花緒や夕堂

松尾 みどり



エコー・ちがさきの

編集委員のなかまになりませんか？

初心者大歓迎！新しい仲間づくりと編集や取材の面白さで、あなたの新しい世界が開けますよ。



*未発表の短歌・俳句作品を募集しています。下記あて先へ12月1日（土）までに御連絡ください
*次号（第84号）の発行予定は、平成31年2月1日です。

いつでも どこでも だれでも なにからでも

発行・編集 エコー・ちがさき編集委員会

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課

TEL0467-82-1111(代表) FAX0467-57-8388 E-mail: bunkashougai@city.chigasaki.kanagawa.jp

PC用 URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/> 携帯用 URL <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>